

第3回 協働の森基金審査委員会議事録

議 題	<p>1 議 事</p> <p>(1) 審査の公開、非公開について</p> <p>(2) よこはま協働の森基金事業に申請のあった樹林地の審査について</p> <p>(3) その他</p> <p>2 その他</p> <p>(1) 議事録の作成及び議事録署名人の指名</p> <p>(2) その他</p>
日 時	平成17年12月19日(月) 10:30~12:20
場 所	金沢区役所 2, 3号会議室
出席委員	曾田 欽嗣、北川 淑子、小堀 洋美、松本 和也、大木 三郎
欠席委員	二宮 一男 ※敬称略
開催形態	公開
決定事項	<p>申請地について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ よこはま協働の森基金による保全対象とする。 ・ 委員会からの要望として、申請団体に対しては、樹林地取得後の良好な維持管理計画の作成及び管理団体の立ち上げをお願いする。 ・ 維持管理計画の作成や管理団体の立ち上げ等、申請団体の今後の活動については、行政が十分にサポートする。
議 事	<p>議事に先立ち委員による現地視察を行い、その後会議を開催した。</p> <p>1 (1) 審査の公開、非公開について 公開とすることで全員了承。</p> <p>(2) 申請地についての審査 第2回審査委員会で確定した審査方法の確認及び申請のあった樹林地についての説明を行った。</p> <p>(以下質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 斜面の下側の家には、このような事業を進めていることを伝えているのか。 →申請団体からは、周辺自治会にも募金活動をするというので、周知されていると思います。 ・ 急傾斜崩壊危険区域に指定されている場所だが開発はできたのか。 →可能な場所です。 <p>(以下意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ もう少し具体的な管理計画を出してもらった方がいいのではないか。 ・ 申請に至るまでの経緯は具体的に記入してほしい。 ・ 樹林の管理が初めての方には剪定を含め作業が難しいと思うので、住民の方が

	<p>手入れができるように行政が指導してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地を見る限り、あのままでは管理が難しい。行政が一定の費用をかけ、住民が管理できるようにすべきではないか。 ・ 今後の管理については、行政が、ボランティア団体の結成や管理計画の作成について指導していくべき。 ・ 取得する方向になった場合、地元へ愛着を持ってもらうため、名前を付けた方がいいのではないか。 <p>(事務局より)</p> <p>協働の森基金事業により取得することとなった場合は、協働という趣旨から、行政だけの管理ではなく地元と協力しながら良好な維持管理ができるよう検討していきたい。この樹林地に合った管理計画については地元と一緒に考えていく。本市には森づくりボランティアという制度もあり、初心者向けに研修も行っているため、関心が高い方にはこれに参加していただいてノウハウを身につけてもらうことも考えている。</p> <p>今回の申請地については、協働の森基金事業の対象とすることで全員承認。 なお、審査会からの要望として、申請団体には樹林地取得後の良好な維持管理計画の作成や管理団体の立ち上げについてお願いすることとなった。</p> <p>(3) その他 特になし</p> <p>2 (1) 議事録の作成及び署名人の指名 議事録の作成について全員了承。 議事録署名人は、北川委員、小堀委員</p> <p>(2) その他 特になし</p>
資料	<ol style="list-style-type: none"> 1 現地調査報告書 2 現地調査報告書の評価書 3 申請地位置図、公図、現況写真 4 理由書 5 審査の基本方針 6 協働の森基金審査委員会設置要綱 7 協働の森基金審査委員会運営要領